

図書館 だより

第九号

平成 19年
11月 12日発行



いよいよ十一月に入りました。卒業論、就職活動、レポートや課題などなど忙しい毎日を送っていることと思います。

もうすでに掲示などでご存知の方も多いと思いますが、十一月中はトライアルで『**ジャパンナレッジ**』が使えます。

みなさん、利用してみましたか？
みなさんは今まで、レポートなどの資料はどのように調べていましたか？インターネット・図書館の資料・辞書…なかなか自分が探している資料が見つからない。そんな経験はありませんか？インターネットの情報は手軽に手に入るけれど、正確性に欠ける。だけど、資料に使える本を探すのは時間がかかる…。そんな悩みを、この『ジャパンナレッジ』は解決してくれます★
このシステムをもう一度ご紹介しますが、『ジャパンナレッジ』とは、事典や辞書を中心に、出版・新聞社が長年にわたって培ってきたデータを検索できるシステムです。



Japanknowledgeを利用してみましたか？

出版、新聞社のデータなので、出典が明記されており、データの信頼性は抜群です。ですので、これから論文やレポートを書く際には、**最も使えるデータ**だといえます！

おススメコンテンツ

・会社四季報

全国の会社の様々な情報が載っています。就職活動を始めている学部三年生、短大の一年生は、自分が就職希望する会社の情報を調べるのに便利だと思えます。

・大自然ビデオライブラリ

様々な動植物の生態を記録した映像を見ることが出来ます。今まで知らなかった動物の様子を**動画**で見られます！かっこの鳴いている姿は必見です！

別紙の問題を、解いてみてください。全問正解の方には、豪華プレゼントがあるかも…♪

問題用紙と解答は図書館に！



先生方のおススメ本

今回おススメ本を紹介して下さった先生は、

文化心理学科

『向田久美子先生』です。

おススメ本

「人間の絆」

サマセット・モーム著



コメント

文豪モームの自伝的小説と言われ、幼くして両親を亡くしたフィリップ少年が、さまざまな試練を経て成長していく過程が描かれています。

初めてこの小説を読んだとき、「これぞ発達心理学！」という感慨を抱いたのをよく覚えています。そう思った理由のひとつは、主人公がようやく精神的・経済的自立を果たすのが三〇歳前後だったということ（今どきの青年と変わらないですよ）。

もうひとつは、大人になるというプロセスが、自分を縛り付けていた諸々の「絆（ほだし）」から自由になる、解き放たれる、という形で描かれていたことです。誰しもコンプレックスや、人に隠しておきたいことの一つや二つはあることでしょう。フィリップの場合、不自由な足や経済的困窮、それに伴う自信のなさがあったわけですが、さまざまな経験を経て徐々にそれらを、つまり自身を受け入れられるようになっていくのです。主人公に共感したり、あきれたり、応援したりしながら読み進み、読み終えたときには勇気づけられている、そんな作品です。